

令和2年度共同募金による令和3年度県域助成申請書

社会福祉法人 山口県共同募金会
 会長 大窪正行様

下記内容のとおり山口県共同募金会へ申請します。

■申請活動名

がんピアサポートを広めるプロジェクト

活動種別 (何れか1つに○)	<input type="checkbox"/>	地域から孤立をなくすための活動
	<input type="checkbox"/>	子どもの生活と子育てを支援するための活動
	<input type="checkbox"/>	障がい者の就労と地域生活を支えるための活動
	<input type="checkbox"/>	高齢者の地域生活を支える活動
	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉を推進するための活動
	<input type="checkbox"/>	災害対策のための活動
	<input type="checkbox"/>	その他緊急的な福祉課題を解決するための活動
	<input type="checkbox"/>	更生保護を目的とした活動

■申請者

法人格の有無 (何れかに○)	有 () 法人	無 (ボランティアグループ、任意団体)
法人(団体)名	ポポメリー	
代表者	役職名 代 表	氏名(ふりがな) ふじ もと いく え 藤 本 育 栄

■連絡先

活動実施事業所名	山口市市民活動支援センター「さぼらんて」		
所在地	TEL:	090-4808-8081	
	FAX:	[REDACTED]	
	E-mail:	popomerrypopo@gmail.com	
	URL:		
連絡責任者	役職名 代 表	氏名(ふりがな) ふじ もと いく え 藤 本 育 栄	
設立時期 活動内容	2019年12月	今までの活動内容を簡潔に記入下さい。 2019.12 団体設立 2020.1 会則等団体運営準備	

【山口県共同募金会】

■申請概要

応募金額	160,000 円	※ 1万円未満は切捨	経費の総額	196,000 円
活動の内容	<p>課題に向けての実施体制</p> <ol style="list-style-type: none"> 活動・啓発ツールの制作・配布、SNSでの情報発信 (団体パンフレット、がん啓発チラシ、がん相談支援場所マップ、ブログ) 当事者向け自助事業 <ol style="list-style-type: none"> 1日開放日(月1回/年、同日時間内に座談会開催) 時間制限: 少人数予約制 座談会(月1回/年、2時間程度、10~20名、さぼらんて、オンライン) がん経験者、がんに関心のある人が気軽に集まって安心して思いを話せ、情報共有できる場の提供 ワークショップ(年2回、さぼらんて開放スペース、オンライン講座) ケア帽子作成・手作りマスク作成、ハンドマッサージ等 外部向け啓発事業 オンラインによるピアサポート公開講座(年間3回開催) 外部向け研修会の開催、がん患者団体交流会の開催、がんピアサポート相談会、ボランティア養成研修への参加 他、当団体の課題解決に必要な事業 			
活動の必要性	<p>がんに関する相談は山口県がん相談窓口、病院等でされているが、がん経験者が相談窓口にいるとは限らない。サロンでは、がん経験者やその家族によるピアサポート体制の内容は様々であり、院外活動への発展は少ない。それらを利用できないがん罹患者が感じる精神的負担、身体的苦痛、経済的不安はサポーターの経験的アドバイスにより、今のがんの向き合い方に変化が期待される。県内各地区に地域でがんピアサポートできる人材が、身近にあることが重要であり、そこに繋げていくことは自分に向き合うに大切な要素である。</p>			
活動の対象者 (人数)	がん当事者、家族、支援者などがんについて関心のある人			
活動範囲	県全域若しくは市町名 山口県山口市(県央部)~県全域			
活動期間・日数	令和3年 4月 1日~ 令和4年 3月 31日)			
協力・連携予定の団体や機関	<p>山口県(健康増進課、医療政策課、学校教育課、健康福祉課) 山口市(健康福祉部、保健福祉センター、市民活動支援センターさぼらんて) 山口市内の医療機関(山口赤十字病院、山口済生会病院、小郡第一総合病院、等) 山口県予防保健協会、山口県医師会、山口県看護協会、防府市リボンの会、山口県内患者会等</p>			
活動に期待される効果及び課題	<p>(活動を実施した場合の成果・活動上の課題等を記入して下さい)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がんの情報を共有する機会を作ること、当事者のみならず、周りの方々にもがんについて正しく知ってもらうことができる。 ● がん患者やその家族(当事者)が交流することで、情報の交換や共有ができることで、孤独感を軽減に役立ち、精神的不安解消の一步となる。 ● 行政や地域の医療機関と連携することで、当事者の気持ちに寄り添うことで今ある医療課題や地域課題の対策に繋げることができる。 ● 活動を広げることで、SNSやオンラインを活用した発信ができる人材が増えていける。今はさぼらんてで支援を受けているが、今後の活動を広げていくためにもスタッフ研修等の人材育成にも力を注いでいきたい。 ● ピアサポーターに興味関心を持つことにより、地域でできるサポート体制が整う。 			

※本申込書にご記入いただいた個人情報は、本助成金に関する事務手続きのみに使用いたします。